



choshi
お知らせ
news

小児と高齢者の費用を助成 インフルエンザ予防接種

問 健康づくり課 ☎ (24) 8070

接種 種時点で住民登録がある小児と高齢者が対象です。

▶接種期間 **10月1日(火)～12月31日(火)**

小児 | 生後6か月～中学3年生

助成額 上限**2,000円**(1回限り)



高齢者 | 次の①か②に当てはまる人

①65歳以上

②60～64歳で、

身体障害者手帳1級程度の心臓・

腎臓・呼吸器の障害、

ヒト免疫不全ウイルスによる

免疫機能の障害がある人

助成額 **1,000円**(1回限り)



choshi
お知らせ
news

新型コロナウイルス ワクチン接種情報



問 健康づくり課 ☎ (24) 8070

10 月から新型コロナワクチン定期接種が始まります。
高齢者を対象に市から接種費用の助成が受けられます。詳しくは10月号でお知らせします。

▶対象者 次の①か②に当てはまる人

①65歳以上

②60～64歳で、身体障害者手帳1級程度の心臓・腎臓・呼吸器の障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害がある人

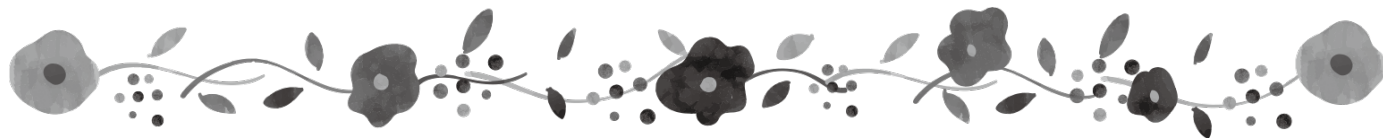
▶接種期間 **10月1日(火)～令和7年3月31日(月)**

▶助成回数 毎年度1回

▶接種場所

委託医療機関による個別接種のみで集団接種はありません
予診票の個別送付はありません

▶助成額 **10,300円**(1回限り)



市長コラム 107

【実習生パトロール隊】

銚子市長 越川 信一

外国人技能実習生による自主防犯組織が田原市(田原義久社長)で結成され、8月7日、防犯パトロールが行われた。銚子市内ではこれまで8つの自主防犯組織(115人)が活動を展開してきたが、外国人技能実習生による組織は初めて、千葉県内でも初の試みだ。防犯団体の高齢化が進む中、田原市をモデルケースとして実習生の参加が県内各地に広がることが期待される。

創業96年を迎えた田原市は銚子で水揚げされた新鮮な「さんま・いわし・さば」などを中心に、こだわりの缶詰を製造。現在はベトナム国籍の実習生16名が在籍している。銚子警察署と銚子市が連携した「安全・安心を実感できる未来づくり計画」の具体的な取り組みとして、実習生による防犯パトロールを田原義久社長に提案したところ、「ぜひ結成したい」と英断。銚子警察署生活安全課による防犯講話が行われ、犯罪抑止と防犯パトロールの重要性を実習生に説明、実習生たちはオレンジ色の帽子とベストを身につけ、青色灯を点滅させながら橋本町一帯を30分ほどパトロールした。

銚子市の外国人住民登録(7月1日現在)は2681人で銚子市の人口の約5%を占める。銚子警察署長は「外国人同士が防犯や交通安全を呼びかけ合うことで意識が高まる」と期待。「困ったことがあったら市に相談して欲しい」と私も呼びかけた。

人口減少の中で外国人住民にも参加をいただきながら、多文化共生と「握手のまちづくり」を進めていきたい。